

| | |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人財を育てる学校。 |
|--------|---|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 マナーと規律を守り、心身ともに健全で思いやりのある生徒を育成する。 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 地域・保護者と連携し、地域・保護者に信頼される学校を作る。 |
|------|---|

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| | | | |
|-----|---|-------|--------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 | (8割以上) |
| | B | 概ね達成 | (6割以上) |
| | C | 変化の兆し | (4割以上) |
| | D | 不十分 | (4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | | |
|-----|----------|---|
| 出席者 | 学校関係者 | 名 |
| | 生徒 | 名 |
| | 事務局(教職員) | 名 |

| 学校自己評価 | | | | | | | |
|--------|--|--|---|---|-----------|-----|-------------|
| 年度目標 | | | | 令和6年度評価(月日現在) | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |
| 1 | 現状 生徒は積極的に授業に取り組んでおり授業内容も概ね理解している。保護者においても、本校の資格取得を中心とした学力向上への期待は高い。 課題 ・学力の定着を図るための授業改善。 ・上位の資格取得が目指せる環境の充実。 ・ICTを活用した質の高い授業の工夫。 | <ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を育てる授業の実現 検定合格者数 効果的なICTの利活用 | <ol style="list-style-type: none"> 「学ぶ力」を定着させるため生徒主体の授業を展開し、自ら学ぶ意欲と姿勢を育てる。 資格取得を奨励して、学習の動機付けを行い、より広範囲で高度な資格取得を目指す。 ICTやデジタル教材を活用し、わかる授業及び個別最適な学びに取り組む。 | <ol style="list-style-type: none"> 生徒の授業への取組状況や理解度等。(生徒アンケート) 各種検定の取得状況や生徒の満足度等。(普通教科も含む) 授業におけるコンピュータやタブレット等のICT機器利用の取組状況等。 | | | |
| 2 | 現状 登下校時の服装、マナーに関して地域住民から評価が得られていない。学校運営に関して、生徒が意思を表明する機会が確保されていない。 課題 ・登下校時の服装指導について徹底。 ・生徒との対話による学校運営。 | <ol style="list-style-type: none"> 登下校時や校内での服装マナーの向上 生徒の意見を取り入れた学校運営の実現 | <ol style="list-style-type: none"> 該当分掌を中心に全職員で協力し、登下校時や校内の服装マナーの向上を図る。 生徒総会や学校評価懇話会において、生徒意見を表明する機会を確保し、対話を通じて生徒の意見を学校運営に活かす。 | <ol style="list-style-type: none"> 登下校時や校内での服装マナーの状況把握(生徒アンケート)と保護者や地域住民からの評価等。 生徒意見を反映させた学校運営の実施等。 | | | |
| 3 | 現状 生徒、保護者ともに進路実現に関しての満足度は高い。就職者よりも専門学校を含めた進学を選択する生徒が多くなっている。四年制大学への進学や公務員等への就職も着実に増えている。 課題 ・1年次からの進路意識の醸成。 ・進路手帳の活用状況の向上。 ・キャリアノートの活用状況の向上。 | <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス機能の強化 進路手帳の活用 キャリアノートの活用 | <ol style="list-style-type: none"> 外部講師を招いたキャリア教育を実践するなど、ガイダンス機能を強化し、進路意識の向上を図る。 集会やガイダンス等でメモを取る習慣を付けさせ、学校行事等での活動を記録するなど進路手帳の有効活用を図る。 すべての学年においてキャリアノートの活用を促す。 | <ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関連する講演会の実施状況や進路意識の向上等。 進路手帳の活用状況等。(生徒アンケート) キャリアノートの活用状況等。(生徒アンケート) | | | |
| 4 | 現状 地域や企業との連携は十分に行っている。ホームページでの情報発信や体験入学が生徒募集に結びついている。 課題 ・中学生やその保護者に、本校の教育内容や商業の魅力の効果的に伝えるためのさらなる工夫。 ・地域や企業、近隣学校の児童生徒や保護者等と連携した取組の充実。 ・PTA、後援会、同窓会と連携した取組の充実。 | <ol style="list-style-type: none"> 教育内容の効果的な情報発信 授業を通じた地域との連携 PTAとの連携と保護者への効果的な情報発信 | <ol style="list-style-type: none"> HPの充実を図り、学校行事や特徴ある取組を中学生やその保護者へ積極的かつタイムリーな情報発信に努める。 地域と協力しながら「渋沢栄一翁」の教えや功績を授業に活かし、地域と協働した授業展開を行う。 PTAや後援会・同窓会と連携しながら、保護者の信頼に答える学校環境づくりに努める。 | <ol style="list-style-type: none"> HPの情報発信状況と学校説明会や体験入学の満足度(アンケート)や参加状況等。 地域や企業との連携や地域に関係する行事、近隣学校との連携等。 PTAとの連携行事の満足度(保護者アンケート)や後援会・同窓会との連携行事等。 | | | |

| 学校関係者評価 | |
|-------------------|----------|
| 実施日 | 令和 年 月 日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | |
| | |